

令和5年度 第4回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和5年11月20日(月) 午後2時00分から午後3時00分

場 所 市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、菊地謙委員、渡辺浩隆委員、藤澤陽子委員(代理)、篠田紫織委員、竹之内純一委員、吉田鈴美委員、渡邊輝江委員、古市佳子委員、山寄幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、瀧口博史委員、會澤奈穂子委員、森井真理委員、今井崇徳委員(鎌ヶ谷市社会福祉課長)、
【ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富】加藤有子、青木えり
欠席者 向井智之委員、藤澤陽子委員、山本幸子委員、勝又和久委員
館岡文委員(鎌ヶ谷市健康増進課主幹)
事務局 【障がい福祉課】星野里香課長、高橋奈帆子主幹、稲葉もも主任主事
【鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳、岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・資料1 鎌ヶ谷市内の障害者グループホーム
- ・資料2 日中サービス支援型グループホームの報告・評価について
- ・追加資料1 同性介助に向けた人員配置(男性職員採用)計画案について
- ・追加資料2 日中サービス支援型グループホーム事前調査チェックリスト
- ・チラシ「ピア活動をはじめするには？」

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(16名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<相談支援従事者研修の受講生の受け入れについて>

前回の鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会(以下「協議会」という。)にて事前に報告していたとおり、相談支援従事者研修の実習カリキュラムの一環として、当初研修受講生を2名ほど本会議に受け入れる予定であったが、受講生の都合がつかないため、協議会の下部組織であるテーマ別チーム会議に今後は参加してもらうことを報告した。

鎌ヶ谷市内の障がい者グループホームについて

習志野圏域障害者グループホーム等支援ワーカーの森井真理委員より、資料1「鎌ヶ谷市内の障害者グループホーム」を基に、鎌ヶ谷市のグループホームの現状や課題について説明があった。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

委員

利用者の金銭管理について、職員に指導を行っているか。

習志野圏域障害者グループホーム等支援ワーカー

指導は開設支援の際に行っており、その後もきちんと契約を締結しているか等の口頭確認はしているが、個別の内容までは見ることはできない。

委員

日中サービス支援型とは、重度化、高齢化という外に出られない方のホームと思っていたが実際はどうか。

習志野圏域障害者グループホーム等支援ワーカー

日中活動に出ている方もいる。

日中サービス支援型共同生活援助における協議会の報告・評価について

事務局より資料2「日中サービス支援型グループホームの報告・評価について」を基に、説明があった。11月13日に習志野圏域障害者グループホーム等支援ワーカーと事務局でソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富を訪問した旨の報告と、追加資料1「同性介助に向けた人員配置（男性職員採用）計画案について」及び追加資料2「日中サービス支援型グループホーム事前調査チェックリスト」について説明があった。また、年1回以上の評価を行う必要があるため「日中サービス支援型グループホーム・意見提出票」の提出をお願いした。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富より資料2「日中サービス支援型グループホームの報告・評価について」説明があった。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

事務局

追加資料2「日中サービス支援型グループホーム事前調査チェックリスト」の「9 事故対応の体制」及び「10 金銭管理の体制」について説明をお願いしたい。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

「9 事故対応の体制」について。第1報は、事故対応した職員が事故の状況等を記載した報告書を作成する。マネージャーへは必ず報告する。第2報は管理者又はサービス管理責任者がご家族や関係機関とのやり取り、事故原因や改善点を協議のうえ記載する。第1報、第2報の内容は全職員に周知される。第3報は、1か月後に改善案が適切かどうか再確認し記載する。県庁や援護地にも事故報告を行う。

「10 金銭管理の体制」について。原則、立替金でやりくりしている。個別の出納帳を作成し後からまとめて請求する。請求については、本社も確認しダブルチェックを行っている。

事務局

虐待防止委員会及び災害時等のBCPについて状況を教えてほしい。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

虐待防止委員会は、グループホームごとではなく会社全体で設置しており、年に1回必

ず研修を行っている。災害時等のBCPは、本社で作成し各グループホームに展開され設置している。

委員

連携している医療機関はどこか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

かまがや在宅診療所と連携している。

委員

実際に事故は起こっているか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

県庁に報告するレベルのものはない。軽い転倒の事案はあったが通院するものでもなかった。

委員

同性介助できているか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

依然として女性職員が男性の入浴介助をしている。

会長

委員の皆様には、11月30日までに「日中サービス支援型グループホーム・意見提出票」を提出してほしい。記載いただいた要望や意見等が協議会の評価となり、意見等がない場合には適正な運営を行っているという評価になる。

その他

事務局より次回の協議会は令和6年2月19日午後2時からであることを確認した。また、チラシ「ピア活動をはじめするには？」について説明した。

会長 ほかになければ以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年12月26日

氏名 渡辺 浩隆 _____

氏名 今井 崇徳 _____